

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	統計調査事務事業					事務事業コード	01801
部 名	市長公室	課 名	市政情報課	係 名	広聴統計係	部課コード	010600

1. 事業概要

総合計画コード	6431	6551		
事業年度	年度 ～ H	年度	事業類型	◎ソフト事業 ○ハード事業
法令等の義務付け	○法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 ○義務と任意の両方を含んでいる事業 ◎任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務		<根拠法令等(法律、条例、要綱など)>	
めざす 目的成果	市に関する統計データが市の施策に活用されている。統計書及び市のホームページで統計データを公表し、市民等に情報提供されている。			
事業内容	市に関する統計データを市の各部課所やその他の関係機関から収集し、「統計あさか」を編集発行する。「統計あさか」は、市役所市政情報コーナーや図書館等に設置し、またホームページに掲載することにより、市の施策に活用されている。統計書及び市のホームページで統計データを公表し、市民等に情報提供されている。			
事業手法	☒ 市の完全な直営 ☐ 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) ☐ 市民等との協働 ☐ 補助金交付			

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容			「統計あさか」を編集発行、またホームページに掲載した。 公開可能なデータを随時オープンデータ化した。									
			単位:千円		H26年度決算		H27年度決算		H28年度決算見込			
投入コスト	a 事業費[イ]～[ホ]				48		33		32			
	財源内訳	[イ]国庫支出金			0		0		0			
		[ロ]県支出金			0		0		0			
		[ハ]地方債			0		0		0			
		[ニ]その他			0		0		0			
		[ホ]一般財源			48		33		32			
	b 人件費				1,466		2,198		1,466			
総コスト(a 事業費 + b 人件費)					1,514		2,231		1,498			
投入労働量		常勤職員等(人工)		0.20 人		0.30 人		0.20 人				
		一般職非常勤職員等(時間)		0 時間		0 時間		0 時間				
a 事業費 (H28年度決算見込)の執行内訳			旅費 4千円 需用費 18千円 役務費 1千円 負担金、補助費及び交付金 9千円									
指標名			単位	H28目標・計画		H29目標・計画		H30目標・計画		最終目標・計画		
				(H28実績見込)		(H29実績見込)		(H30実績見込)		目標年度		
活 動	①	「統計あさか」編集作成回数	回	1 (1)		1 (—)		1 (—)		1 H 32 年度		
	②	ホームページ版統計あさか作成回数	回	1 (1)		1 (—)		1 (—)		1 H 32 年度		
成 果	①	「統計あさか」発行回数	回	1 (1)		1 (—)		1 (—)		1 H 32 年度		
	②	ホームページ版統計あさか掲載回数	回	1 (1)		1 (—)		1 (—)		1 H 32 年度		

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	☒ A 必要性が高い	☐ B 必要性がある程度認められる	☐ C 必要性が低い
	☐ 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される ☒ サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている ☐ 法令等により、市に実施が義務付けられている ☐ 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる ☐ 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい ☐ その他 <説明> 市に関する統計データを統計書や市のホームページで公表することで、市の施策に利用されたり、市民等に対しての情報提供として用いられているため、市の関与は必要である。また、今後は行政が保有するデータを利活用できる形にし、誰もが2次活用できるようにオープンデータとしてデータを提供していく必要性も増していくことから市の関与は必要である。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	☐ A 目標よりも大きな成果が得られた	☒ B 概ね目標の成果が得られた	☐ C 目標とする成果が得られなかった
	☒ 活動指標の目標を達成した ☒ 成果指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 「統計あさか」の編集発行については、概ね目標は達成できている。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 市に関する統計データを統計書及びホームページ等でわかりやすく公表した。 参加と協働: 市民参画の助長となる統計データの収集、公表を行った。 経営的な視点: 市の施策に有効活用できるような統計データの収集を行った。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	☐ I 見直す余地がない	☒ II 見直す余地がある程度認められる	☐ III 見直す余地がある
	☐ 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある ☒ 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある ☐ サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある ☐ 受益者負担のあり方について見直す余地がある ☒ 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある ☐ 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある ☐ その他 <説明> 「統計あさか」に掲載する統計表について、新規に掲載する必要がある表や今後情報収集ができなくなってしまうようなものの有無を担当課に見直しを行ってもらい、「統計あさか」の内容を精査していく余地がある。			

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	☒ A 市で継続実施 ☐ B 休止・廃止 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ C 民営化 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ D 国・県に移譲 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ E 終了 (実施時期: ☐ H28年度まで ☐ H29年度まで ☐ H30年度まで)			
	成果の方向性	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小		
今後の取組方針	投入資源の方向性	事業費	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小	
		労働費	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小	
		☐ A 見直して継続 ☒ B 現状のまま継続		
	見直しの方向性	☐ 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ 業務プロセス改善 (実施時期: H 年度) ☐ 対象・水準等の見直し (実施時期: H 年度) ☐ 受益者負担の見直し (実施時期: H 年度) ☐ 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ その他 (実施時期: H 年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)		今後も引き続き各課、関係機関に「統計あさか」に掲載する情報の依頼を行っていく。そのうえで、新規に掲載するもの、今後不必要となるもの統計データについて内容を精査していく。 また、行政が保有するデータのオープンデータ化についても、引き続き随時行っていく。		